

## 日本英語教育史学会 会報

282

2017 年 8 月 28 日

**HiSELT** Society for Historical Studies of English Learning and Teaching in Japan

日本学術会議協力学術研究団体 日本英語教育史学会

発行人 日本英語教育史学会 (代表: 江利川春雄)

事務局 〒727-0023 広島県庄原市七塚町 562

県立広島大学 庄原キャンパス 河村和也研究室

tel: 0824-74-1727 fax: 0824-74-0191

e-mail: membership@hiset.jp

会費納入口座 (名義人: 日本英語教育史学会)

ゆうちょ銀行【振替口座】00150-3-132873

三菱東京 UFJ 銀行千住中央支店【普通】0997182

学会公式ウェブサイト [www.hiset.jp](http://www.hiset.jp)

## 第263回研究例会報告

2017 (平成 29) 年 7 月 15 日 (土), 順天堂大学お茶の水キャンパス (東京都文京区) において第 263 回研究例会が開催されました。参加者は 18 名でした。

例会では 2 本の研究発表が行われました。はじめに, 内丸公平氏 (東洋大学助教) が「シェイクスピアを 1 冊も読んだことのない教師は, 良い教師とは言へない」: シェイクスピアが英語教材だった頃を振り返る」というタイトルでお話しされました。続いて森永弘司氏 (同志社大学嘱託講師) による「同志社大学の良心 元同志社大学教授 L. W. ハブル氏の事績」の発表が行われました。司会は, 赤石恵一氏 (日本大学) でした。以下に参加者の感想を掲載しますのでご参照ください (①は内丸氏, ②は森永氏の発表への感想です)。

◇ ◇ ◇

◆①修士論文の研究を基礎に, 戦前の英語読本に掲載されたシェイクスピア関係の教材を徹底的に調べ上げ, その概要を明らかにされた功績は大きいと思います。今後, さらに博論レベルにまで高めていかれるようですので, 楽しみです。その際には, 副読本はもとより, 「スイントン英文学史」のような定番文学教科書も精査され, 願わくば他の文学系教材の掲載頻度と対比されると, 英語教材におけるシェイクスピアの位置がより鮮明になると思います。

(みかん舟)

◆①シェイクスピアを中心にした英語教育についての説明について, 改めて考えさせられる事が多々あった。シェイクスピアの様に古典を中心にして, 英語教育も必要だと考えます。

(木村幸雄)

◆①私は 35 年間専任で高校生を教えてきました。江利川先生の「副教材」としてシェイクスピアがどのように扱われてきたかというご指

摘に賛同致します。長年夏休みや冬休みの課題として「ロミオをジュリエット」等を実際, 扱ってきたからです。もう一つ, 「1950 年代をピークに 2000 年代には英語教材として消滅した」ということに関連して。確かに 2000 年代には英語の教材としては消えています, 文化祭でのクラス劇の上演という形で今でもシェイクスピアは人気があります。「ベニスの商人」が一番人気があり, 逆に「リア王」が一番先に「上演するのをよそう」という高校生の視点が, 本日の発表内容と重なる部分があり, 興味深いと思いました。 (M)

◆①現在ではほぼ消滅状態のシェイクスピアがどの様に教材として使用されていたか興味がありました。特定の作品もあり, シェイクスピアの伝記も含まれていたことも知りました。オリジナルを易しく書き換えただけでなく, ストーリーも変わってしまったリア王は思わず笑ってしまいました。英文学を教材にどう盛り

込むかという課題は私も感じています。実践としての英語を身に着けるのももっともですが、英語を母語としている方々のものの考え方は文学がベースとなっていると言っても過言ではないと思うので、それを知る所からスタートすることも選択肢の1つであって欲しいです。日本で言う夏目漱石等と同様ですね。

(竹下順子)

◆①プリントをわずかでも用意して欲しかった。お話は面白かったが、よい話が忘れられてしまうのは残念である。各大学の英文科にはカラーがあり、それらも含めて話を伺いたかった。

(Taxi Smoker)

◆②発表はハブルの人となりにより焦点を当てており、面白く拝聴しました。今後は、同志社でのハブルの授業内容、教科書、学生の反応などの教育面も調査いただけると、英語教育史の研究として深みを増すと思いました。さらなるご研究が楽しみです。

(みかん舟)

◆②ハブル先生の存在の大きさを感じました。学歴はなく叩き上げで大学の教員になったとは言え、学問に妥協がなく学生にも慕われどうしても欲しい人材というのも納得です。教育現

場では「英語教育畑」となって文学は肩身が狭いを感じます。大学の学科の名前も「文学部英文学科」から「外国語学部英語コミュニケーション学科 (...?)」等と「コミュニケーション」も謳ったものになる所からひしひし伝わる様です。

(竹下順子)

◆②ハブル先生の人となりですが、先生の語り口から伝わってまいりました。とても楽しい発表を伺うことができよかったです。

(匿名希望)

◆②Hubbel 先生についての説明はよく判りました。この様な方についての説明などを多く機会を作っていただいて、皆の知らない方の事を教えていただきたいと思います。

(木村幸雄)

◆②ハブルのことをもっと知りたいと思った。シェイクスピアを全部暗誦できたのは何かコツがあるに違いない。出版社の名前にアイリスとあったがその由来を聞きたかった。

(Taxi Smoker)

◆いずれも興味深いものでした。文学の専門ではないものですが、ことばの学びの中に文学テキストをしっかりと位置づけることが必要であると考えております。

(持田哲郎)

<発表を終えて>

この度は貴重な発表の機会をお与えくださり誠にありがとうございました。英語教育史研究においても、英文学受容史研究においても、シェイクスピアが中等学校でどのように受容されていたのか、その実態を実証的に明らかにする論文がほぼ皆無であったため、では自分で調べてみようと思いつたのが数年前のことですが、ようやく少しは形になってきたのではないかと考えております。発表後、オリジナルと翻案の区別に言及する貴重なご質問をいただきましたが、それらを区別するのは、あまり意味がなく（いわゆる「オリジナル」と言われるシェイクスピアも実はエディションであり、編集者の手が入っています）、また（便宜上の区別は別にして）ほぼ不可能なことであるため、むしろ社会文化的背景を考慮しつつ、その「違い」に目を向けてこそ、有益な実を結ぶのではないかと考えております。加えて、文学を扱うならば副読本にも目を向けるべきではないかという貴重なご指摘をいただきましたため、今後そちらの方面にも力を入れて参りたく存じます。今後ともご指導ご鞭撻のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

内丸 公平（東洋大学助教）



< 発表を終えて >

森永 弘司 (同志社大学嘱託講師)

私は直接ハブル先生の教えを受けた人間ではないが、直接ハブル先生の指導を受けられた同志社女子大学名誉教授の尾崎寔先生の著書や先生との会話を通してハブル先生に関する様々なことを学ばせていただいた。その事が切っ掛けになって私は第3回日本国際教養学会の全国大会においてハブル先生に関する発表をおこなった。敢えて今回2回目の発表をおこなったのは、ハブル先生が日本の英語教育史に名を残すに値する人物だと考えたことと、最近面識を得た木村氏からハブル先生に関する情報をご教示いただいたことに起因している。木村氏には今回の発表を聞きに来ていただいただけでなく、ハブル先生に関する思い出を例会の席で話していただきとても感謝しています。シェイクスピアの全作品を誦んじられていたハブル先生にとって、もう一人の発表者の内丸先生がシェイクスピアに関する発表をされたことは、暗合とはいえとても喜ばれることではなかったかと推察しています。例会の後の懇親会では、筑波大学の名誉教授の島岡先生、神奈川大学の久保野先生と初めて親しくお話をさせていただき、とても充実した時間を過ごすことができました。



## >> 事務局より

### >> 年会費の納入について

全国大会にお越しになれなかったみなさまに会費納入をお願いする文書(「紀要の送付と年会費の納入について」)をお送りしましたところ、早速多くのみなさまにご協力いただきました。厚くお礼申し上げます。なお、所属機関を宛名とする領収証がお入り用の方は事務局にご連絡ください。

また、1年もしくは2年分の会費が未納の方にお送りする予定の「会員継続のご案内」は、発送が遅れご迷惑をおかけしております。後期(秋学期)の開始に合わせ、9月中旬にはお手許にお届けできるようにいたします。ご不明の点は、事務局までお気軽にお問い合わせください。

### >> 会費の送金先について (再掲)

年会費は以下の口座にご送金ください。口座名義は「日本英語教育史学会」です。恐れ入りますが、手数料はご負担くださいますようお願いいたします。

- |  |
|--|
| <p>[1] ① 郵便局で払込取扱票をご利用の場合<br/>         ② ゆうちょ銀行の総合口座(ばるる)よりご送金の場合<br/>         →ゆうちょ銀行 [振替口座] 00150-3-132873</p> <p>[2] ゆうちょ銀行を除く金融機関の口座よりご送金の場合<br/>         →ゆうちょ銀行 〇一九(ゼロイチキュウ)店 [当座口座] 0132873</p> |
|--|

上に掲げた2つの口座は同一のものです。ゆうちょ銀行の「振替口座」は、ゆうちょ銀行以外の金融機関から送金する場合には「当座口座」の扱いとなり、支店名や口座番号が他の金融機関の形式に合わせたものとなります。

近年、払込取扱票によらずご送金くださる方が増えておりますので、これを同封するのを取り止

めております。払込取扱票をご利用の場合、お手数ですが郵便局の窓口で「0」から始まる口座への送金とお伝えのうえお受け取りください。

なお、これまでお使いいただいていた三菱東京 UFJ 銀行千住中央支店の口座は、事務局の移転にともない、まことに勝手ながら廃止させていただきたく存じております。他の金融機関よりご送金の場合も、今後はゆうちょ銀行の口座をご利用くださいますようお願い申し上げます。

## )) 事務局の電子メールアカウント (Gmail) について

事務局の置かれている県立広島大学は学内ネットワークのセキュリティをたいへん厳しく設定しており、そのため事務局アカウント (membership@hiset.jp) からの発信ができないことがあります。その際、これまでは事務局長の個人名により Gmail のアカウントからメールをお送りすることで対応していましたが、今後は事務局の Gmail アカウント (membership.hiselt@gmail.com) を使用することにいたしました。

なお、事務局アカウント (membership@hiset.jp) にお送りいただいたメールを受信することには問題はありませんので、会員のみなさまには従来通りご使用いただきたくお願い申し上げます。

## )) 『日本英語教育史研究』第33号投稿論文の募集 (再掲)

来年 5 月に刊行予定の研究紀要『日本英語教育史研究』第 33 号への投稿論文を募集します。投稿締切は 10 月 31 日 (火) (消印もしくは受付印有効) です。どうぞ奮ってご投稿ください。

### (1) 送付先 (編集委員長)

〒727-0023 広島県庄原市七塚町 562 県立広島大学 馬本 勉 宛 (電話 0824-74-1725)

### (2) 提出方法 :

執筆者名を明記したもの 1 部と執筆者名をふせたもの 2 部を、(1)の送付先に郵送してください。また、受領した旨を連絡するため、ご自分の宛先を明記した葉書を 1 枚同封して下さい。

### (3) 注意事項 :

投稿規程・標準書式は、『日本英語教育史研究』第 32 号をご参照ください。次のリンクより閲覧も可能です。 [http://hiset.jp/toko\\_kitei.pdf](http://hiset.jp/toko_kitei.pdf)

## )) 新入会員

- ◆ 孫工 季也 (まごく としや) 和歌山市 和歌山大学大学院 [院生]
- ◆ 平井 清子 (ひらい せいこ) 相模原市 北里大学一般教育部
- ◆ 笠原 一哉 (かさらは かずや) 羽曳野市 四天王寺大学教育学部

## )) この先の研究例会・全国大会

- ◆ 第 264 回研究例会 2017 年 9 月 9 日 (土) 広島で開催予定
- ◆ 第 265 回研究例会 2017 年 11 月 18 日 (土) 京都で開催予定
- ◆ 第 266 回研究例会 2018 年 1 月 20 日 (土) 東京で開催予定
- ◆ 第 267 回研究例会 2018 年 3 月 17 日 (土) 京都で開催予定

\* 日程や場所は変更される場合があります。その際は会報およびウェブサイトでお知らせします。

研究例会での発表希望者は、(1) 発表希望月、(2) タイトル、(3) 発表概要 (100～200 字程度)、(4) 使用予定機器、以上の 4 点を明記の上、発表希望月の 3 ヶ月前の 10 日 (1 月発表希望であれば 10 月 10 日) までに日本英語教育史学会例会担当へお申し込みください。

Email: reikai@hiset.jp

## 日本英語教育史学会 第 264 回 研究例会

日 時： 2017 年 9 月 9 日 (土) 14:00～17:00

場 所： サテライトキャンパスひろしま (広島県民文化センター) 5 階 505 中講義室  
(広島市中区大手町 1-5-3)

### 研究発表①

#### 1980 年代の臨時教育審議会における英語教育政策の立案過程

松岡 翼 (和歌山大学大学院生)

【概要】グローバル人材育成や小学校英語教育などの教育政策が、官邸主導 (政治主導) で実施されるようになった。では、官邸主導の英語教育政策の論議はいつごろ本格化したのであろうか。本発表では、1984 (昭和 59) 年に設置された内閣総理大臣直属の臨時教育審議会における英語教育政策の立案過程の実態を、議事録を基本資料として明らかにしていく。また、コミュニケーション重視と小学校英語教育に焦点を当て、今日の英語教育政策と関連付けて考察する。

### 研究発表②

#### 広島発「ラジオ英語講座」の歴史 (1)

河村 和也 (県立広島大学) ・ 馬本 勉 (県立広島大学)

【概要】1925 (大正 14) 年 7 月に岡倉由三郎を講師とする「英語講座」が東京放送局で開始されると、同じ年のうちに大阪や名古屋でも始められるなど、ラジオを用いた語学講座は全国に展開していくことになる。広島放送局では開局して間もない 1928 (昭和 3) 年 8 月に「英語講座」の放送を始めたが、その講師を担当したのは、広島高等師範学校教授の櫻井役 (1889-1957) であった。この発表では、日本放送協会が発足する大正末期から昭和初期の時代において、広島発のラジオ講座が全国的な流れの中でどのような意義を持ち得たのかを考察する。あわせて、入手のなかった放送用テキストの内容や難度に関する分析を試みることにより、講座の内容が英語教育史の中にいか位置付けられるかを明らかにしたい。

参加費：無料

問合せ：日本英語教育史学会例会担当 ([reikai@hiset.jp](mailto:reikai@hiset.jp))

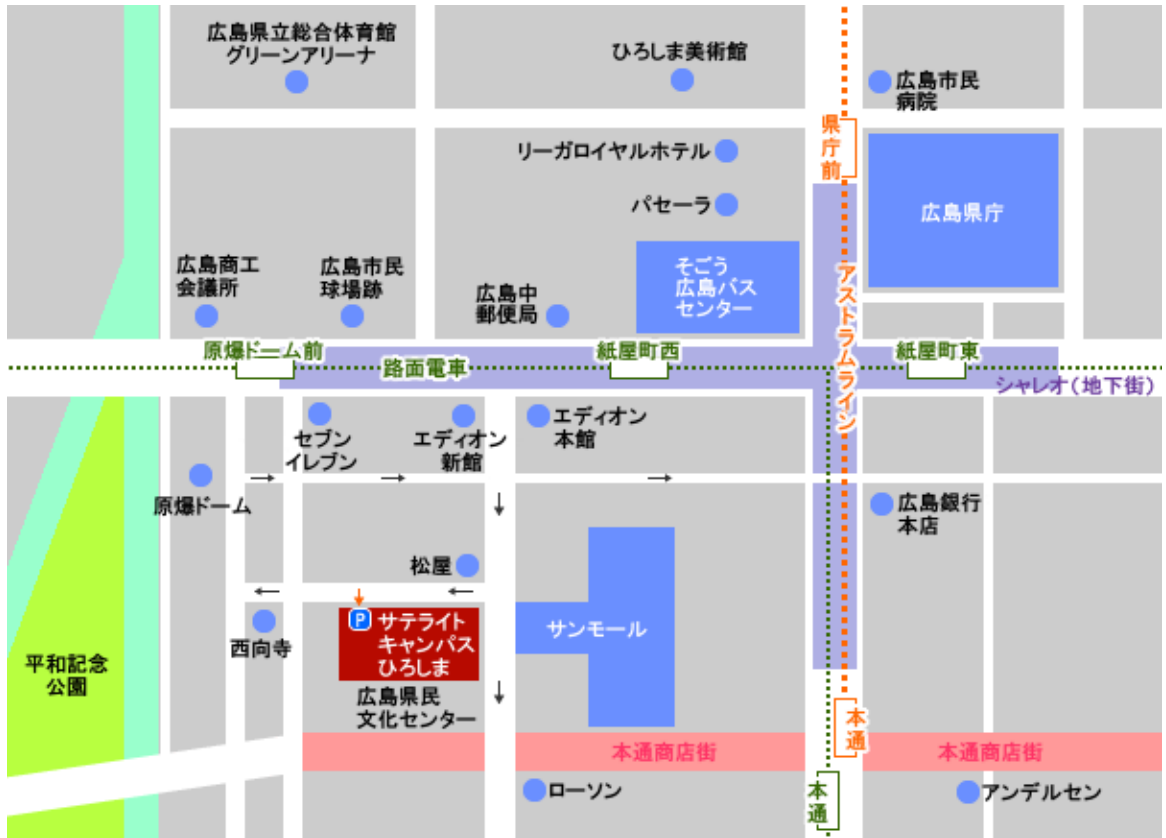
- ◆例会終了後に懇親会を行います。こちらにも奮ってご参加ください。
- ◆行楽シーズンですので、宿泊をご予定の方は、お早めに各自でご手配ください。

★会員外の方の研究例会へのご参加を大いに歓迎いたします。

## 【会場案内】

(県立広島大学のウェブサイト「アクセスマップ」

(<http://www.pu-hiroshima.ac.jp/site/satellite/accessmap.html>) より)



## 【交通案内】

## ◆JR 広島駅から

路面電車で約 20 分, バスで 15 分, 車で 15 分

◇路面電車 (広島電鉄) の場合

広島港行 「本通り」下車, 徒歩約 5 分

西広島行, 江波行, 宮島行 「紙屋町西」下車, 徒歩約 3 分

## ◆広島バスセンターから

徒歩 3 分

## ◆広島空港から

リムジンバス (広島バスセンター行き) 約 60 分

**EDITOR'S BOX** みなさまご存知のように、今夏はゲリラ豪雨が各地で発生し、日本全国に大きな傷跡を残しました。秋田でも 7 月下旬からの 1 月ちょっとで 2 度も河川が氾濫した場所がありました。被害に遭われた人のショックを想像すると、何ともやりきれない気持ちになります。

© 日本英語教育史学会会報編集部 (秋田大学 若有研究室 [geppo@hiset.jp](mailto:geppo@hiset.jp))